

しょうがっこうをおくる会 様

Plan Japan

プラン特別プロジェクト
エクアドルにおける学校建設プロジェクト
完了報告書



エクアドルの子どもたち

財団法人 日本フォスター・プラン協会(プラン・ジャパン)
〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22 サンタワーズセンタービル11F
www.plan-japan.org

プログラム部 寺田 聡子
TEL: 03 - 5481 - 6265 / FAX: 03 - 5481 - 6200
Email: terata@plan-japan.org



2010年12月

しょうがっこうをおくる会 様

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、国際 NGO プランの活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ご支援いただきましたエクアドルにおける学校建設プロジェクトが完了いたしましたので、ここにご報告申し上げるとともに、深くお礼申し上げます。

今回の貴重なご支援により、子どもたちのより良い未来の実現に、大きく一步近づくことができました。これからもプランは、皆様からの支援によって、途上国の子どもたちとともに地域開発を進めて参ります。

賜りましたご寄付に今一度感謝申し上げますとともに、今後とも末永くプランの活動にご参加いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

敬具

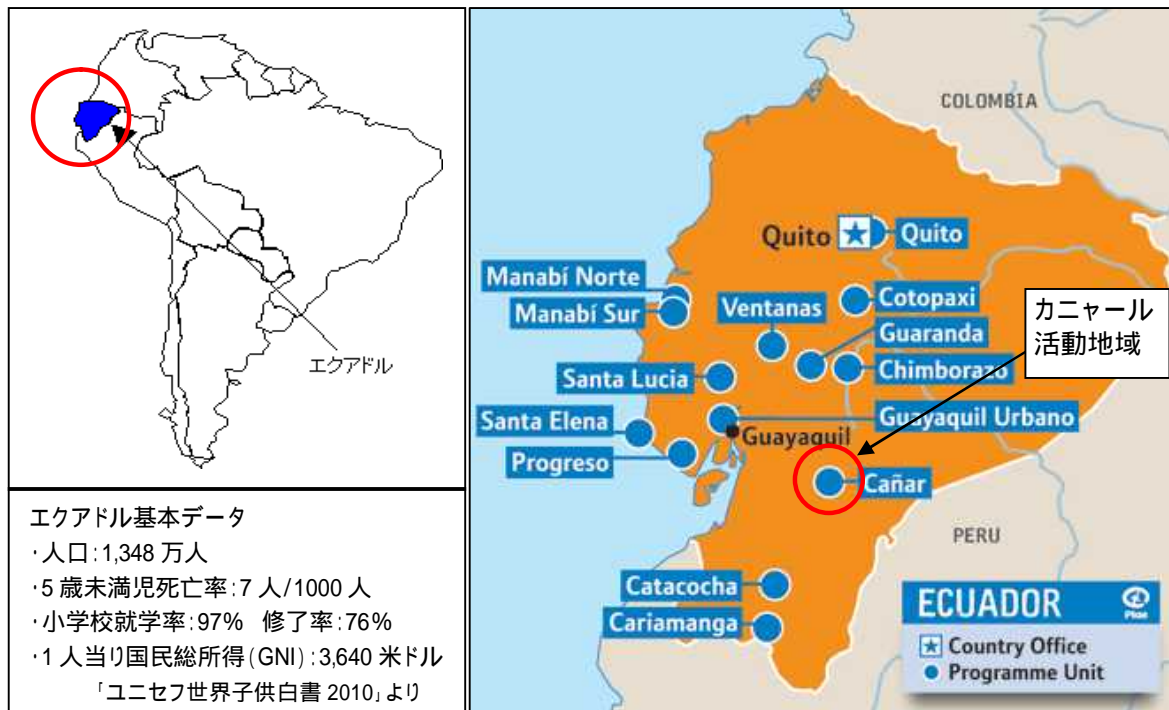
財団法人 日本フォスター・プラン協会(プラン・ジャパン)

事務局長

佐藤 活朗

プロジェクトの背景・概要

プランは、エクアドルで1964年に活動を開始して以来、現在は14の現地事務所を拠点として住民参加型の地域開発活動に取り組んでいます。



エクアドルでは、小学校6年、中学校3年のあわせて9年間は義務教育とされています。しかし、学習環境の不備や教師の能力不足により、子どもたちは小学校で十分な基礎学力を習得できず、中学校の就学率は52% (UNDP 人間開発報告書 2007/2008) にとどまっています。

アスアイ県ジーマッド地区ベジャビスタ・コミュニティにあるベンハミン・アルボルノス小学校は、適切な設備や教室数の不足により質の高い教育を行うことができず、高い留年・中退率や、低い学習達成度に悩んでいました。同校では、2人の教師のもとで60人の児童が学んでいますが、2つある教室は通気性が悪く、衛生的ではありませんでした。また、教室が不足していたため、複式学級で授業を行っており、コミュニティから遠く離れた近隣地区の学校に通学している子どもたちも数多くいました。

このプロジェクトでは、ベンハミン・アルボルノス小学校に校舎1棟を建設し、この学校に通う子どもたちにより良い学習環境を提供することを目指しました。

プロジェクトの経過

このプロジェクトは、2010年1月の開始以来順調に推移し、以下の活動を実施して2010年10月に無事完了しました。

プロジェクトの準備

プロジェクト開始にあたり、プロジェクトを中心となって管理運営するプロジェクト管理委員会を設立しました。プロジェクトを円滑に進めるため、プロジェクト管理委員会のメンバーにはプロジェクトの実行や進捗管理、入札方法などに関するトレーニングを実施しました。また、地域の人々はプロジェクトに積極的に協力していくことを約束し、整地作業や掘削作業など、熟練した技術を必要としない作業を手伝うことに同意しました。

入札と建設作業

2010年2月、プロジェクト管理委員会はプランの支援を受けて、業者を選定しました。選定後、業者が建設予定地の視察し、設計図の作成と工事費用の再見積もりを行いました。2010年3月に資材を購入し、実際の建設作業が始まりました。準備段階で決められたように、地域の人々も労働力を提供するなど、積極的にプロジェクトへ協力しました。建設工事中、工事が予定通り適切に行われているかどうか、プラン職員が定期的に現場を訪れ、品質管理や進捗確認を行いました。工事は順調に進み、2010年7月に六角形の新しい校舎がほぼ完成しました。その後、塗装などの仕上げ作業や周囲の清掃を経て、2010年10月に完成しました。

プロジェクトの成果

子どもたちの学習環境の改善

新しい校舎が完成したことで、ベンハミン・アルボルノス小学校の児童60人が、設備の整った安全で快適な環境で教育を受けられるようになりました。子どもたちが安心して教室で過ごせることで、授業への集中力が高まり、学習効果の向上が期待できます。六角形の教室は、児童にとって興味深くまた楽しく授業に参加できるだけでなく、教師にとっても子どもたちすべてに目が配りやすく、児童一人ひとりの理解度を確認しながら授業が進められるという利点があります。教師はこのような教室の利点を活かし、工夫を凝らした授業を行うことで、授業の質の改善が期待できます。

住民参加による地域の能力強化

プロジェクト期間中、子どもたちを含む地域の人々、学校関係者、自治体の各担当者などプロジェクトに関わるすべての人々が良好な関係を築き、うまく役割分担をしながらプロジェクトに積極的

に参加しました。このような地域住民の積極的な参加により、地域の人々が責任を持って、プロジェクトによる成果を継続していく体制が整いました。

プロジェクト支出

しょうがっこうをおくる会様からいただいたご寄付18,389.91米ドル(166万円)は、下記のとおりすべて支出を終えました。ご寄付額と総支出との差額は、エクアドルでの活動を統括するプラン・エクアドルの年間予算より拠出してプロジェクトを完了いたしました。

活動内容	支出額(米ドル)
校舎建設費	17,904
プログラム管理費	3,324
合計	21,228

現地の声

「勉強するのが大好きです。きれいな教室ができて、勉強するのがますます楽しみになりました。毎日たくさんのことを学べるので、とても楽しいです。」
(カリナ / 8歳、4年生児童)



「新しい教室で、とても良い先生と毎日勉強するのは、とても楽しいです。」
(フランクリン / 9歳、5年生児童)

「新しい教室で勉強するのが大好きです。先生と友達と勉強できて、うれしいです。もっと学校に来て、いっぱい勉強したいと思います。」
(グラディス / 8歳、4年生児童)





「このような立派な教室で、子どもたちに教えることができ、とても嬉しく思っています。子どもたちは勉強を通じて、将来役立つような知識を身につけることができます。毎日この教室で子どもたちと勉強するのが楽しみです。」

(アンジェリカ・グアルパ / 20歳、4年生と5年生の担当教師)

「私たちコミュニティをご支援くださったしょうがっこうをおくる会の皆様に、心から感謝申し上げます。新しい教室は、4年生と5年生の児童が大切に利用しています。」

(ヴィニチオ・プリオン / 52歳、学校長)



写真



(写真左)外装も終え、完成した校舎
 (写真右)登校してきた子どもたち。新しく校舎ができたことで、コミュニティから遠く離れた近隣地区の学校に通わずに済むようになりました。



(写真左上・右上・左)
 授業風景の様子。六角形の教室の面をうまく利用して、4年生と5年生の授業が行われています。
 快適な学習環境で、お互いを邪魔せず勉強に集中できるようになりました。



(写真左)
校舎のドア上に、しょうがっこうをおくる会様の記念プレートを掲げました。



< 献辞 > ベジバピスタ・コミュニティのベンハミン・アルボルノス小学校は
子どもたちのために私たちのコミュニティで教育施設を支援くださった
しょうがっこうをおくる会に感謝の意を表します。
2010年10月